

その2 認知症かな？と感じたら

認知症の原因によっては、早期に発見して適切な対応をとることで治療や進行を抑えることが可能です。認知症のサインに気づいたら早急に「物忘れ外来」や「認知症外来」を行っている専門医に相談しましょう。もし、本人を連れて行くのが難しい場合は、まずは家族の方だけでも相談してみましよう。

早期発見・早期診断・早期治療



その3 認知症かな？と感じたら

認知症になっても、その人らしさや感情がなくなっている訳ではありません。接し方次第で認知症の症状を和らげることもできます。

ポイント① 気持ちに寄り添いプライドを傷つけない

一見理解できないような行動にも本人なりの理由があります。頭ごなしに否定したり怒ったりすると、本人の自尊心（プライド）を傷つけてしまい、その出来事自体は忘れても嫌な思いをしたという感情だけは残ってしまいます。

本人の気持ちを理解するよう心がけ、その気持ちに寄り添った対応が大切です。



ポイント② 本人のペースに合わせる

認知症になってもゆっくりであればできることも多いので、本人の様子をよく見て、焦らせたり急がせたりしないようにしましょう。また、一度にたくさんのことを言うと認知症の方を混乱させてしまいます。ゆっくりと簡単に、分かりやすく伝えることを心がけましょう。

ポイント③ 笑顔でにこやかに接する

理解はできていなくても表情や感情は伝わります。笑顔で接することで認知症の方も安心できます。多少困った行動をとっても、なるべく笑顔で接するよう心がけましょう。



【認知症に関するお問い合わせ先】

- 役場保健福祉課 Tel 35-2111
- 大石田町地域包括支援センター Tel 36-1520

認知症のことで心配な方は
ご相談ください

～認知症になっても住み慣れた地域で暮らせるように～

正しく知りたい！ 認知症のこと

その1 認知症ってどんな病気？

認知症は、脳の細胞が死んでしまったり働きが悪くなったりすることで、日々の生活に支障が出てくる状態のことをいいます。認知症は誰にでも起こり得る「脳の病気」なのです。

▼「認知症」と「老化による物忘れ」との違い

認知症	物忘れの自覚がない	ご飯を食べたことなど体験そのものを忘れる	判断力が低下する	時間や場所、人との関係性が分からない
認知症	何を探していたかしら？	ご飯まだ？	ど、どうしよう！	はて？ どちらさんかな？
老化による物忘れ	物忘れの自覚はある	ご飯のメニューなど体験の一部を忘れる	判断力の低下は見られない	時間や場所、人との関係などは分かる
老化による物忘れ	何を探していたかしら？	お昼、何食べたっけ？	ガスを消し忘れてた！ 消さなきゃ！	えーと？ あなたはお隣の…
老化による物忘れ	お昼、何食べたっけ？	お昼、何食べたっけ？	ガスを消し忘れてた！ 消さなきゃ！	はい ○○です こんにちは

▼認知症の主な原因は？

認知症にはさまざまな原因があり、症状の現れ方などに特徴があります。

アルツハイマー型認知症	脳血管性認知症	レビー小体型認知症
脳内にたまった異常なタンパク質により神経細胞が破壊され、脳が縮んでしまう。	脳の血管が詰まったり（脳梗塞）、破れたり（脳出血）して神経細胞が破壊されます。	脳内にたまったレビー小体という異常なタンパク質により神経細胞が破壊されます。
【症状と特徴】 軽度の物忘れから徐々に進行していき、やがて時間や場所の感覚がなくなっていく。	【症状と特徴】 小さな脳梗塞などが起こるごとに段階的に進行。体にマヒを生じることもあります。	【症状と特徴】 現実にはないものが見える幻視や、手足のふるえが起こります。症状は少しずつ進行。